

神秘劇会議2019 < 私は何者なのか? — 個とカルマの謎 >

プログラム

申込み方法

8月4日(日)	
9:10	受付開始
9:30	オープニング
9:45 ~ 11:15	ミハエル・デーブス第一講演 「カルマと発展」
11:30 ~ 12:30	ワークショップ： ^{はなわろうせい} 埴狼星
12:30 ~ 13:30	昼休み
13:30 ~ 14:30	『魂の試練』 第9景・第10景 上演
14:30 ~ 16:00	ミハエル・デーブス 第二講演「カルマと悪」
16:20 ~ 16:50	まとめの話合い
16:55	終了
17:10 ~ 18:00頃	今後に向けての話合い (有志、於第4リハーサル室)

(変更の可能性あり)

参加するコマ(1日通しか午前/午後)、お名前・連絡先(住所・電話/Fax、メールアドレス)を明記の上、
2019年5月10日~7月31日に下記の担当者にお申込みください。確認書を返信いたしますので、届きましたら郵貯振替口座に参加費をお振込みいただき、当日振替領収書をお持ち下さい。

■ メールでの申込み先：

- ・香川裕子 hirokokagawa@kuf.biglobe.ne.jp
- ・大原志津子 tokkin2005birth@nifty.com

■ ファックスでの申込み先：

漆山美智 Tel+Fax: 054-334-7355

お振込先

ゆうちょ銀行振替口座

[記号番号] 00170-0-596282

[加入者名] 海外講師を呼ぶ会

講師： ミハエル・デーブス氏

1943年ドイツ生。大学で数学、物理学、哲学を、キリスト者共同体司祭養成ゼミナールで神学を学び、69年司祭就任。1978年~2007年ゼミナール教授として司祭養成・多くの日本人学生の指導にあたった。人智学の識者・講演者としての評価は非常に高く、集會司祭としての活動の傍ら、世界各地で講演、講座活動を行う。2010年来4回ゲーテアムにおける神秘劇会議での連続講演を引き受けてきた神秘劇通。来日は7度目。

宗教と医学、教育など他分野との協力活動に積極的で、著作多数：「物質と光」、「コンピュータに“攻撃”される人間」、「信仰と認識」、「人智学とキリスト教会の改新」、「天使体験」、「マリア・ソフィア」など。

ワークショップ・ファシリテーター：^{はなわろうせい} 埴狼星

1963年生まれ、大阪在住。京都大学で人類学を学び理学博士号を取得。2004年より大阪のこばの家でアントロポゾフィーと言語造形を学び、小学生を対象とする空堀こば塾を立ち上げ、こばの教育と公演活動に取り組む。一般社団法人ルドルフシュタイナーハウスが開催するシュタイナー教育教員養成講座(第六期)を修了し、現在、人智学に基づく教育と芸術の実践を目指す一般社団法人空堀アントロコミュ代表理事として、こどものエポッククラス、大人のこばのワークショップを開催。神秘劇会議には過去二回役者として参加。

通訳： 香川裕子

ハンブルグ・オイリュトミー学校を卒業後、キリスト者共同体司祭養成ゼミナールに在籍する間にデーブス氏の指導を受ける。シュトゥットガルトのヴァルドルフ教員養成ゼミナールのオイリュトミー専科コースを修了し、大人・子どものオイリュトミー指導をする傍ら、人智学関係の通訳・翻訳業に従事。2009年より神秘劇勉強会を主催し、未訳だった神秘劇第3劇と第4劇、神秘劇解説書を2冊訳出。最新刊：ミハエル・デーブス『光の海。シュタイナー思想からの死の考察と死との向き合い方』、ペーター・ゼルク著『ルドルフ・シュタイナーの神秘劇の中の秘教的共同体。テンプル騎士団、薔薇十字会、ベネディクトゥスを囲む人々』

出演者募集中!

『魂の試練』第9景、12人の農民で出演する人を公募しています。普段の勉強会に出られなくてもWEBのアプリケーションを使ってオンライン練習で参加可能。

デーブス氏によるその他の催し(変更の可能性あり)

● キリスト者共同体夏季特別講座

<老-病-死 ~ “体”の秘儀>

8月5日(月)・6日(火)・7日(水)(13時頃まで)

問合せ：キリスト者共同体東京集會

tokyo@kirisutoshakyodotai.org

http://www.kirisutoshakyodotai.org

● 司牧医学会議

※医療関係者の参加希望者をお待ちします。

8月7日(水)(15-17時頃)

於：キリスト者共同体東京集會

問合せ：堀雅明

masaaki@horiclinc.org

● 福岡講座

<ファウスト>

8月9日(金)・10日(土)

問合せ：井手芳弘

ide@perol.net